

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

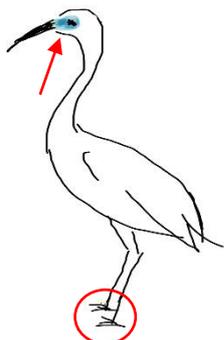
## 高知市内でみられる鳥類の見分け方！

今回の「鏡川流域パートナーシップだより」はインターンシップ生の久原（高知大学人文社会科学部3回生）が担当させていただきます！スマホアプリの「Biome（バイオーム）」を使うと、画像をAIが解析して予想される動植物の候補を出してくれます。とっても分かりやすくして便利なのですが、よく似た見た目の別の生き物などは候補内から絞るのが難しい場合もあります。今回は、そんな見分けるのが難しい生物、サギ類についての解説をしたいと思います！じっくりと観察して生き物の種類を特定できた時は、すっきりとした達成感が味わえるので、ぜひご活用ください！

### 「シラサギ」は正式な種名ではない？！

水田や川辺によくいる白いサギ、「あの鳥って何？」と尋ねると多くの人が「白鷺（シラサギ）じゃないの？」と答えると思います。でも実は、**シラサギは正式な種名ではない**のです。私たちがパッと見て「シラサギだ！」と思う白色のサギは、**ダイサギ、チュウサギ、コサギ**の3種類で、大きさはダイサギが最も大きく、コサギが一番小さくてその間の大きさがチュウサギとなっています。

この3種、並んでいたら大きさで判別できるのですが、実際のフィールドでは見分けるのにちょっとしたコツが必要です。そこで、この**3種の見分け方のポイント**について、イラストを描いて整理してみました！夏と冬で若干異なりますが、季節に合わせて、今回は夏バージョンでお送りします。



★ダイサギ  
目の周り：青～緑（夏）黄（冬）  
くちばし：黒（夏）黄（冬）  
足の指：黒

冬のくちばしは全体的に黄色ですが、先端は黒です。



★チュウサギ  
目の周り：黄  
くちばし：黒（夏）黄（冬）  
足の指：黒



夏になると頭から冠羽が生えます。

★コサギ  
目の周り：黄  
くちばし：黒（通年）  
足の指：黄

このチェック項目を確認していくと、皆さんが見つけた白いサギが実際は何という種名なのか、判断できるようになると思います。この3種の中でも**コサギ**は、狩りをしているのを見かけることが多いので、観察がとて楽しいです！鏡川では堰が絶好の狩りスポットのようで、小魚を捕っている姿を見ることができます。ぜひ観察しに行ってみてください！

#### 【インターンシップでの活動】

- 市内の道路上で怪我をしたキジバトがいるとの連絡を受け、現地で保護しました。早く怪我が治るとよいのですが…。\*種別や状態等によっては保護対象外の場合もあります。
- そして、今回の「鏡川流域パートナーシップだより」の、サギについての情報を使ったクイズも作ってみました！スマホアプリ**まちのコイン「ぼっちり」**から回答可能です。是非やってみてください！



★ぼっちりクイズNo.9★ 全問正解者に100ぼっちりプレゼント♪  
+100 ちらっ



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone Android